

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 1番 高橋 豪

平成 26年 2月19日

午前・午後 11時01分 受領

発言通告書	発言の種別	一般質問
発言の要旨		備考
<p>1. 一体庁舎整備と角館庁舎移転の今後の方針について</p> <p>市では平成31年頃を目標にした一体庁舎整備とは別に、角館庁舎を先行して移転するという案を、昨年5月に打ち出し、議会全員協議会に提示すると共に、住民説明会を開催した。これは、角館庁舎が建築から50年以上経過し、一部外壁等が劣化のため破損するなどの老朽化に対応するという考えのもとに行われたことであるが、結果的に議会や住民説明会などにおいては、老朽化の根拠や、一体型庁舎の整備との整合性を問われ、結果的に市では角館庁舎を始めとした現在使用中の庁舎等の耐震調査を実施することとし、また、角館庁舎移転については一体型庁舎整備と併せて検討することに方針を転換し現在に至っている。耐震調査については本年2月に終了する見込みとなっているようであるが、今後の展開について次の点を伺う。</p> <p>(1) 耐震調査の結果(途中経過や見込み)については、市政報告等で触れられているが、詳細について伺う。</p> <p>(2) 今後の耐震調査結果を踏まえ、危険個所はどのような対応をするのか。</p> <p>(3) また、今後も角館庁舎のみを移転する考えはあり得るのか。</p> <p>(4) 一体型庁舎整備については、施政方針によると、平成26年度中に「庁舎整備基本構想」を作成するとあるが、今後どのような手順で進めるのか。また、平成26年度のいつまでに完成させるのか。</p> <p>(5) 以前の一般質問では、一体型庁舎についてはある程度のスペースを考慮する必要があるため中心市街地への設置は難しい旨の答弁があったが、これについては現在も変わらないのか。</p> <p>(6) 逆に郊外に設置する場合のメリット・デメリットをどう捉えているのか。</p> <p>(7) 一体型庁舎整備については、平成30年を目標にされている。来年度新たなセクションとして「庁舎整備推進係」設置するとのことであるが、まずは議論のたたき台としても、庁舎の位置や機能等については、責任者である市長の考え方をまとめ示すべき時期に既に来ていると思う。市長自身の考え方はまとまっているのか。</p> <p>2. 若者・子育て支援と高齢者にやさしいまちづくりについて</p> <p>少子高齢化が進み、本市の高齢化率も既に34%程度にまでなり、この後15年~20年で40%台に突入することが予測されている中、今後益々高齢者</p>		

に対しての支援や住みやすいやさしいまちづくりが求められる。一方でその高齢化社会を支えるのは、まぎれもなく現役世代であり、特にこれから本市を支えていく若者がしっかりと定住をし、また、その子ども達も自分の生まれ故郷に誇りを持ち、将来自らがこの町に住みたいと思えるような、そうした環境を現段階から構築していくことが大きな課題であると言える。本市の若者や子育て支援、子ども達に対する政策については、以前から幾分進歩したものもあるが、他と比較した場合、まだ発展途上の分野も多い。また、高齢者に対しては、今後も除排雪の支援や買い物支援など多くのことが更に必要となってくる。財源の課題もあるが、今後は前述の社会的背景であればこそ、大胆な政策を打ち出し、その閉そく感を払拭すべきである。門脇市政も昨年から 2 期目に突入し、こうしたことにさらに積極的に取り組む必要性があるものと考え次の点を伺う。

- (1) 門脇市政の 2 期目の若者・子育て支援政策について
- (2) 高齢者に優しいまちづくりをするための、高齢者支援政策について
(除雪や排雪、雪降しに対する支援や、買い物弱者に対する支援など)

3. ブランド戦略でイメージアップと経済効果を 市名変更の議論を開始すべき

門脇市政においては、所得 10%アップを公約に掲げて現在 2 期目に入っているが、未だ道半ばではないかと推察している。ところで、市民所得をアップさせるためには、市内での経済活動の活性化はもとより、市外からの外貨を獲得することに注力しなければその目標は達成し得ない。外貨獲得の手段としては、第 1 に、市内で生産されたものを市外・県外・海外に対し販売すること、第 2 に市を訪れた市外・県外・海外の方々に、市内で生産された商品・製品・地場産品を販売したり、飲食や宿泊等のサービスを提供すること、大きくこうした 2 点に集約される。このような中で、いかにしてそれぞれの商品やサービスに付加価値を付け、高い収入を得られるかが今後の市内経済発展の大きなカギになると考える。このことに着目し、例えば「地域ブランド戦略」が全国多くの地域で展開されているが、1 期目の門脇市政においては、外貨獲得の手段として、既に観光ブランドとして定着し、全国的にも圧倒的な知名度のある、角館や田沢湖という名称に着目し、これを旗印にした観光ブランド戦略を展開するため、「田沢湖・角館」のロゴマークを作成し、パンフレットや宣伝に使用してきた経緯があるが、今後の地域ブランド戦略について次の点を伺う。

- (1) 観光ブランド戦略について、これまでの成果と課題について
- (2) とところでロゴマークの効果はどうなのか
- (3) 平成 22 年の一般質問では、市名変更によるイメージアップと経済効果は非常に大きなものがあると考え、知名度復活のため市名変更を求めたが、市長の答弁は、市民の機運が高まれば検討するというものであった。もうすぐ合併後、市制 10 年を迎えるが、このままでは、本来この地域に持ち合わせている、長年にわたり積み上げられてきた地域全体の歴史的ブランドそのものが人々の記憶から忘れ去られる可能性も否定できない。こうした危機感を感じ、改めて市名の変更について伺う。

上記のとおり通告します。

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 12番 安藤 武

平成 26年 2月19日

午前・午後 11時49分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>秋田杉バイオエネルギーセンターについて</p> <p>検証委員会は、稼働の実態を検証し将来に向けてのリスク分析を行い、今後の可能性や継続の是非についての判断材料をまとめる事を目的としている。現時点での考え方、進め方について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 報告書が新年度に反映されるのか。 2. 予算計上したことは、システム上問題がないとのことか。 3. 検証委員全員が、トラブルの原因としてガスの分析を必要としているが、できるのか。 4. 発電所が購入電気料の高騰により経営的に非常に厳しいとの認識では、市民に申し訳が立つのか。 5. トラブル続きの現状を、国、県は知り得ているのか。 6. 検証委員会の概要報告書は、この施設は完成品ではないことを言っている。今後は、実証試験施設に向けて、取り組むつもりはないか。 			<p>(副市長)</p>
<p>上記のとおり通告します。</p>			

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 17番 田 口 喜 義

平成 26年 2月19日

午前・午後 11時49分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1、 秋田県種苗交換会の駐車場用地の活用計画について 盛会裏に幕を閉じた秋田県種苗交換会の各会場間の交通輸送を支えた主会場の駐車場・武蔵野中央地区公共用地のその後の活用について</p> <p>(1) 武蔵野中央地区の利用計画の中で、Cゾーン(市立多目的広場)の体育館・生涯学習センターの整備計画の具体性について</p> <p>(2) 老朽化による早期の改修が必要とされる生保内市民体育館は、マスタープランによると「総合体育館はスポーツ振興に大きく寄与するものであり、公認の大会等の開催は地域経済への効果が大きく、早期の建設が望まれる」とされている。そのマスタープランに沿った教育委員会の今後の進め方について伺う。</p> <p>2、 仙北市の医療と市立角館総合病院建設について</p> <p>(1) 市立病院改革推進計画によって進められてきた仙北市の医療について</p> <p>① 2つの市立病院を本院と分院として連携し、お互いの役割を果たす計画だったが現状はどうか。</p> <p>② 市立角館総合病院建設に関する調査特別委員長の報告では、「医療局を設置した初期の目的である医療局主導による医療体系の確立においての機能は全く果たされていない」との報告だったが、その報告に対する市長の見解を伺う。</p> <p>③ 医師の招聘活動について、市長は施政方針で「着実に成果を上げている」と述べられた。一方で市立田沢湖病院の救急再開について、市長は、就任時に「早ければ2年以内に道筋をつけたい」と述べていたが、一時救急だけでも再開できないか。</p>			

④仙北組合総合病院の建設にあたって、仙北市でも改築事業費等を負担している。5月の開院にあわせて新たな連携について伺う。

(2) 市立角館総合病院の建設費について

市立角館総合病院建設に関する調査特別委員会報告にも触れられているが、その後の最新の建設予定費の内訳について、改めて伺う。

①用地取得総額

②病院本体の建設費

③外構工事費

④医療機器導入費

⑤病院に関するインフラ整備費

⑥収支計画

3、自然災害に備えた危機管理と地域防災について

(1) 集落別の危険個所の説明会では、避難場所や避難経路についても説明されたのか。

(2) 消防団の課題、及び災害時の出動について

(3) 防災無線の活用について

4、仙北市温泉事業の現状と安定供給について

(1) 温泉供給の状況について

(2) モニタリング調査の主な内容について

(3) 新たな掘削はどうか

上記のとおり通告します。

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 16番 八 柳 良太郎

平成 26年 2月19日

午前・午後 11時58分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>仙北市の景気回復の「さくら祭り」について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 まちづくりの基本となる観光産業の実態はどんなものか。合併時と現状を比較するとどうなっているのか。人数だけでなくもうひとつ踏み込んだ数値がでてもいいのではないか。 2 「観光を活かしたまちづくり」という基本理念について市民に周知徹底されているとは思えない。市全体で「おもてなし」が必要と思う。来訪いただけることに感謝をこめて全市民の挨拶運動を提唱できないか。 3 観光客数全体から考えると歩いてくる人は少ない。仙北市の景気は低迷している。大々的に宣伝し多数の駐車場の確保とシャトルバス運行が出来れば景気回復につながり市の財政にも大きな貢献が出来るのではないか。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 市営駐車場と民間駐車場の総数はいくらか。 (2) 市民に回覧板などで駐車場提供をお願いしたらどうか。 (3) 落合野球場、落合公園河川敷等を拠点にして横町橋桜美町側とのピストン往復は出来ないか。 (4) 桧木内川のさくらだけがさくらではない。地域一体に桜があつてこそ桜の町である。指定地域以外の古城山の桜、桜美町側の桜、落合の桜、その他の桜も保護・保全できるように駐車場料金から基金を積み立て活用すべきではないか。 <p>市立角館総合病院について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 病床数42床削減されたがその影響はどうなるのか。 2 建築費の高騰があり新病院費用が19億円余上がり合計61億円かかるとの説明があつた。赤字体質を早期に黒字体質にすべきではないか。そのひとつとしてお客さんのクレームに対して真剣に考える部署をつくるべきでないか。 			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 18番 藤原 助 一

平成 26年 2月18日
午前 午後 6時05分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 財政力指数の改善について 財政力指数の問題であります。財政力指数は、基準財政需要額と基準財政収入の額の関係で、需要額が減って、収入額が増えると好転しますが、本市の場合3～5年前と比較すると年々悪化してきている。その理由は。</p> <p>2. 監査機能の強化について 決算監査なり定期監査では、議会にも報告があり、指摘事項が述べられておりますが、それらの点について、適切に改善されているか伺いたい。</p> <p>3. 投票率の向上対策について 投票率を向上させる妙案をお持ちであればお示し願いたい。</p> <p>4. 教育委員会の会議録について 教育委員会の会議規則では、会議録の公開についてどのように規定しているか。</p> <p>5. 不登校の現状について 不登校の現状や、いじめ、更には体罰の実態等について、詳細な説明を求める。</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 5番 狐崎 捷 琅

平成 26年 2月19日

午前・午後 9時45分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. ふるさと納税について問う ふるさと納税で鳥取県に 9.9 億円の税金が寄付されたという取り組みが放映されていた。あのテレビを見た人も多いと思う。あのような取り組みは仙北市でもすぐに取り組みめるものと思う。良いことはすぐにでも真似すべきである。ふるさと納税をしてくれた方に御礼の仙北市の特産品を送ることで地元業者も潤うし、宣伝にもなる。こうした取り組みは近くでは山形県の尾花沢市で行っている。</p> <p>2. カヌーコースについて (1) 県のコース再建場所を従来の場所だとまた流失する可能性があるため、夏瀬ダムの下流広久内の橋付近に建設するように県に働きかける必要がないか。温泉ゆぼぼの近くなので、全国大会やオリンピックの練習地として最適だと思うがどうか。 (2) 前に川の駅構想について一般質問をしたが、川下りの始発駅としても利用でき、観光面でも大いに魅力があると思うがどうか。以上の点について県に働きかけていくことが必要ではないか。神代地区、広久内地区がもっと日の当たる地域になると思うがどうか。</p> <p>3. クリオンのプールに調査費をつけてその結果報告を議会や市民に報告したか。クリオンのプールの修理費の総額はいくらか。サッカーくじでどのくらい助成がみこまれるか計算をしたか。助成に対する働きかけの努力をしたか。</p> <p>4. NPO 法人角館総合型地域スポーツクラブが廃校の西長野小学校への移転について (1) 現在、廃校の西長野小学校が廃校になってから壊れてきているのでしっかりと管理していく必要がある。一方、角館に総合型地域スポーツクラブを作るために合併前に 6 人の議員たちと広島県熊野町の筆の里スポーツクラブを視察に行き、この時の感動で現在の総合型スポーツクラブができた。 現在、仙北市には中学校区に全部の総合型ができた。しかし、ドイ</p>			

ツのような総合型クラブを作っているところはまだ日本では少ない。もし、角館総合型地域スポーツクラブに西長野小を管理委託させれば日本各地から視察に訪れるような総合型を作れるだろう。管理のクラブマネージャーの人件費 5 年間はサッカーくじ（トト）から出るので市からの持ち出しはないがここらで前向きに検討するつもりはないか。

- (2) 市民には沢山のアイデアを持った方が沢山いる。こういう方たちの話を静かに聞いていると是非こういう方たちの声を行政に届け実現させたいものだと思う。花葉館の高橋社長と話をしたときに国道 46 号線を通称ヨンロクというので協和から盛岡までをシロクロードと名付けて宣伝すればそこから派生する様々なアイデアが生まれると熱っぽく語られた。私も、もし、あのアラブのような建築の西長野小学校をシルクロードの通過都市であるタシケントにちなんで助人(タスケント)にしたら良いと即座に思った。「シロクロードバイクの旅」とか、「シロクロード農家民宿の旅」、「シロクロード温泉巡り」など色々考えられる。観光部長、企画課長、市長はどう思うか。

総合型とシロクロードをドッキングさせて休憩地とするのも 1 案と思うがどうか。

5. 過去の一般質問についての検証

過去に議会で約束をしたことに対する検証の検証委員会を作る必要があると思うがどうか。民政会議が視察した本巢市ではきちんとした検証委員会があった。

上記のとおり通告します。

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 6番 田口 寿 宜

平成 26年 2月19日

午前・午後 10時58分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 仙北市子ども議会を振り返って</p> <p>1月9日に開催された仙北市子ども議会では、様々な角度から鋭い質問が出された。答弁も前向きなものが多く、今後の取り組みに期待をするものであるが、次の事について、これからどのように具現化していくのかを伺う。</p> <p>(1) スポーツ産業による町おこしについて質問があったが、2018平昌(ピョンチャン・韓国)冬季五輪、2020東京五輪の合宿誘致について伺う。</p> <p>(2) 上記五輪の合宿誘致および今後開催されるモーグル国内・国際大会、もしもの場合の救急体制が重要になってくると考えるが、どのような対策を考えているのか。</p> <p>(3) 通学路の除雪体制について、日頃からの丁寧な対応を望むと共に、秋田市で実施しているように一斉除雪デーを設け、市民・行政・学校・PTAが一体となり、通学路の除雪を行う事も必要であると考えがどうか。</p> <p>2. 「文化の殿堂」市民会館の今後について</p> <p>(1) 「文化」に対して、市ではどのようなビジョンを持っているのか。</p> <p>(2) 指定管理者制度の導入を検討されるようだが、行政的な考えでこの制度を導入した場合、市民会館は、「市民のための文化の殿堂」にはならないと考える。もっと市民に利活用していただけるよう、指定管理者制度を導入する際、何らかの工夫が必要だと考えるがどうか。</p> <p>3. 交流人口と定住人口の増加策について</p> <p>(1) 2月に集中する各地域の小正月行事を、飾ることなくしっかりと活かし、冬期間の交流人口増加策につなげるべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 首都圏及び県外に出ている若者が、出身地域へ帰ってくる傾向が出始めている。この状況を好機と捉え、我が市でも若者の定住人口増加に向け、関係機関と連携をとりながら本腰を入れるべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 地方に若者が残り、生業を営む上でも東京一極集中の現状を打破すべきと考える。地方には様々な魅力が存在している。今こそ地方が英知を結集して地方再生に向け頑張るときと考えるがどうか。</p>		
<p>上記のとおり通告します。</p>		